

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		過疎地域等の農業・生活基盤の整備		事業番号、事業名		54 県営中山間総合整備		補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況					
1	こしみちゅうおう 小海中央	農業用排水施設 L=3,400m 農道 L=6,990m 営農飲雑用水施設 L=2,980m 交流施設基盤 1箇所 〔工期：H23～H27〕	営農飲雑用水施設 L=1,860m	農道整備 L=3,200m	農業用排水施設 L=3,400m、 農道 L=6,990m、 営農飲雑用水施設 L=1,120m、 交流施設基盤 1箇所	評価時 (当初) H23	23%	計画どおり進んでいる。 H24は農道整備を実施する。	農道や水路の未整備 が遊休農地を増大さ せているほか、畑かん 施設等の老朽化が用水 の安定供給に支障 をきたしているなど、 高原野菜を中心とした 地域農業の振興上、 必要性、重要性が高い。	必要性が高く、重要 性も認められる。	「継続」		
	(小海町)	4億4200万円	1億円	8000万円	3億4200万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=6.78 住民参加状況等 施設の設計に当たっては、地域住民や小海町の要望を取り入 れて実施している。						
2	とのしろ 殿城	農業用排水施設 L=6,963m 農道 L=805m ほ場整備 A=22.7ha 暗渠排水 A=6.4ha 農業集落道 L=1,600m 農業集落排水施設 L=869m 交流施設基盤 1箇所 市民農園 1箇所 〔工期：H23～H28〕	農業集落排水施設 L=700m	ほ場整備 A=5.5ha 農業集落排水施設 L=120m	農業用排水施設 L=6,963m 農道 L=805m ほ場整備 A=22.7ha 暗渠排水 A=6.4ha 農業集落道 L=1,600m 農業集落排水施設 L=169m 交流施設基盤 1箇所 市民農園 1箇所	評価時 (当初) H23	12%	計画どおり進んでいる。 H24はほ場整備、農業集落排水施設の整備 を実施する。	小さく不整形なほ場、 農道、水路の未整備 が遊休農地を増大さ せているほか、地域資 源である棚田を活用し た都市交流を進める ための施設もないこと から、地域農業の振 興上、必要性、緊急性 が高い。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」		
	(上田市)	14億200万円	1億6000万円	1億9000万円	12億4200万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 ・長野県公共事業環境配慮書を公表(H23.11.11) B/C(費用対効果)=1.52 住民参加状況等 地区内で工事の支障となる樹木等の伐採を地元住民が直営で 実施している。						
3	おんばしら さと 御柱の里	農業用排水施設 L=8,330m 農道 L=14,386m ほ場整備 A=18.7ha 農業集落道 L=501m 農業集落排水施設 L=3,450m 農村公園 2箇所 生態系保全施設 1式 〔工期：H13～H24〕	農道 L=1,000m 農村公園1箇所	農道 L=100m	農道 L=100m	評価時 (変更) H21	98%	H24まで工期を延期し農道整備を実施する。	農業と観光を結びつ けて、活性化に取り組 んでいる地域であり、 農業生産基盤と農村 生活環境基盤を総合 的に整備を進めること が必要である。平成24 年度は、農道の整備 を実施し完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」		
	(茅野市、 富士見町、 原村)	22億9700万円	1億2500万円	1000万円	1000万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H21計画変更 活性化施設の減他 13億5200万円の減 B/C(費用対効果)=2.55 住民参加状況等 水路などの維持管理や維持修繕を実施する委員会が組織さ れ、水路の維持管理を行っている。						

分野	過疎地域等の農業・生活基盤の整備				事業番号、事業名	54 県営中山間総合整備		補助・単独別	補助	農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	あたり 小谷 〔小谷村〕	農業用排水施設 L=2,885m 農道 L=200m ほ場整備 A=32.3ha 農業集落道 L=784m 営農飲雑用水施設 L=3,040m 情報基盤施設整備 1 式 〔工期：H22～H27〕	農業用排水施設 L=1,000m 情報基盤施設整備 1式	農業用排水施設 L=360m ほ場整備 A=7.4ha 農業集落道 橋 梁下部工 1式	農業用排水施設 L=1,650m ほ場整備 A=32.3ha、 農業集落道 L=784m 営農飲雑用水施設 L=3,040m	評価時 (当初) H22 必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	15% 特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.23 住民参加状況等 完成後の水路等については、受益者が中心となって行う維持 管理体制が整っている。	計画どおり進んでいる。 H24は農業用排水施設、ほ場、農業集落 道の整備を実施する。	山腹水路の崩落が発生し農業用水の安定 供給に支障をきたしているほか、ほ場は小 区画で機械化の障害 となるなど、地域農業 の振興のため整備が 必要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
合計	4箇所	55億8800万円	5億5700万円	5億1000万円	28億1900万円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満				